

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第82期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社G S Iクレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深瀬 佳洋
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経部長 沖田 陽二
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経部長 沖田 陽二
【縦覧に供する場所】	株式会社G S Iクレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第81期 第2四半期 連結累計期間	第82期 第2四半期 連結累計期間	第81期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (百万円)	57,787	61,833	116,024
経常利益 (百万円)	814	835	1,427
四半期(当期)純利益 (百万円)	608	682	828
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	239	428	484
純資産額 (百万円)	10,702	11,356	10,928
総資産額 (百万円)	58,994	60,621	55,031
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	9.45	10.61	12.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	17.99	18.61	19.73
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	785	1,021	1,049
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	16	195	178
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	106	399	1,194
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	10,495	8,606	9,425

回次	第81期 第2四半期 連結会計期間	第82期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	5.55	5.68

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 第81期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により消費や経済活動が低迷するなか、一部に持ち直しの兆しがみられたものの、欧米経済の減速や急激な円高の進行などにより、低調に推移しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、アジア向けの繊維関連取引が拡大したことから、売上高は前年同期比4,045百万円、7.0%増収の61,833百万円となりました。

売上総利益は前年同期比116百万円、1.8%増益の6,658百万円となり、営業利益は前年同期比45百万円、4.4%増益の1,098百万円となりました。経常利益は前年同期比21百万円、2.6%増益の835百万円となり、四半期純利益は前年同期比74百万円、12.3%増益の682百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

繊維関連事業

機能性の高いインナー用原糸および生地取引は大幅に伸長しました。企画提案型の婦人ファンデーションおよびインナー製品の取引は、原材料や中国での人件費をはじめとする生産コストが上昇したものの、堅調に推移しました。また、量販店向けの実用衣料は、冷感など節電ビズ対応の機能性肌着が増加しましたが、パンストなどの基幹商品は総じて苦戦しました。

アウター用生地は、円高の厳しい環境下、高付加価値商品の提案により、欧米および韓国向け輸出が増加しました。婦人アパレル事業およびOEM取引は、震災の影響を受けたものの、前年並みを維持しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3,725百万円、8.0%増収の50,037百万円、営業利益は前年同期比23百万円、2.5%増益の965百万円となりました。

非繊維関連事業

米国における半導体用途の化学製品は取扱いが減少しましたが、エレクトロニクス関連機材は中国向けを中心に増加しました。フィルムは、飲料水の需要増にともない、ペットボトル用途の取扱いが堅調に推移しました。一方、ライフサイエンス関連機器は、震災により需要が落ち込んだことから、取扱いが減少しました。

ホビー関連商品は、プラモデル用塗料が前年並みとなりましたが、他用途に展開していた塗装用器具などは減少しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比320百万円、2.8%増収の11,795百万円、営業利益は前年同期比22百万円、5.6%減益の386百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権や商品の増加などにより、前期末比5,590百万円増加の60,621百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比5,162百万円増加の49,264百万円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少などがあったものの、四半期純利益による株主資本の増加により、前期末比428百万円増加の11,356百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、売上債権やたな卸資産の増加など営業活動による支出や、借入金の増加など財務活動による収入などの要因により、全体では前期末に比べ819百万円減少の8,606百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,021百万円の減少(前年同期比1,807百万円の支出の増加)となりました。主な要因は売上債権やたな卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、195百万円の減少(前年同期比212百万円の支出の増加)となりました。主な要因は出資金の払込によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、399百万円の増加(前年同期比505百万円の収入の増加)となりました。主な要因は借入金の増加によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	64,649,715	64,649,715	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であ ります。
計	64,649,715	64,649,715	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	64,649	-	7,186	-	913

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
グンゼ株式会社	京都府綾部市青野膳所1番地	9,321	14.42
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	3,182	4.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	3,172	4.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	2,773	4.29
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	2,586	4.00
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	1,982	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,301	2.01
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関三丁目7番3号	1,119	1.73
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505103 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	東京都中央区日本橋三丁目11番1号	702	1.09
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	646	1.00
計	-	26,787	41.43

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てて表示しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 293,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,776,000	63,776	-
単元未満株式	普通株式 580,715	-	-
発行済株式総数	64,649,715	-	-
総株主の議決権	-	63,776	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式432株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社G S Iクレオス	東京都千代田区九段南二丁目3番1号	293,000	-	293,000	0.45
計	-	293,000	-	293,000	0.45

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	8,606
受取手形及び売掛金	² 25,792	² 31,335
商品	8,093	9,109
未着商品	239	187
その他	1,305	1,347
貸倒引当金	467	463
流動資産合計	44,388	50,122
固定資産		
有形固定資産	5,590	5,531
無形固定資産	116	153
投資その他の資産	³ 4,935	³ 4,813
固定資産合計	10,642	10,499
資産合計	55,031	60,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,828	23,605
短期借入金	15,669	16,281
1年内返済予定の長期借入金	1,121	1,259
未払法人税等	150	160
引当金	711	342
その他	1,821	2,196
流動負債合計	38,303	43,844
固定負債		
長期借入金	4,481	4,152
退職給付引当金	1,205	1,145
負ののれん	0	0
その他	112	121
固定負債合計	5,798	5,420
負債合計	44,102	49,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	4,092	4,775
自己株式	54	54
株主資本合計	12,133	12,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	557	800
繰延ヘッジ損益	16	18
為替換算調整勘定	702	712
その他の包括利益累計額合計	1,277	1,532
少数株主持分	72	73
純資産合計	10,928	11,356
負債純資産合計	55,031	60,621

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	57,787	61,833
売上原価	51,245	55,174
売上総利益	6,542	6,658
販売費及び一般管理費	1 5,489	1 5,559
営業利益	1,052	1,098
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	31	33
その他	73	47
営業外収益合計	123	93
営業外費用		
支払利息	201	206
為替差損	102	111
その他	57	39
営業外費用合計	362	356
経常利益	814	835
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	-
固定資産売却益	1	-
特別利益合計	5	-
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	5	1
投資有価証券評価損	28	-
関係会社整理損	5	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	-
特別損失合計	47	1
税金等調整前四半期純利益	771	834
法人税、住民税及び事業税	158	147
法人税等調整額	3	3
法人税等合計	162	150
少数株主損益調整前四半期純利益	609	683
少数株主利益	1	0
四半期純利益	608	682

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	609	683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	242
繰延ヘッジ損益	43	2
為替換算調整勘定	65	9
その他の包括利益合計	369	254
四半期包括利益	239	428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	427
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	771	834
減価償却費	119	111
のれん償却額	15	0
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	23
退職給付引当金の増減額(は減少)	68	59
事業撤退特別損失引当金の増減額(は減少)	7	295
受取利息及び受取配当金	49	45
支払利息	201	206
為替差損益(は益)	0	0
有形固定資産売却損益(は益)	1	0
有形固定資産除却損	5	1
投資有価証券評価損益(は益)	28	-
関係会社整理損	5	-
売上債権の増減額(は増加)	4,757	5,544
たな卸資産の増減額(は増加)	238	970
その他の資産の増減額(は増加)	102	59
仕入債務の増減額(は減少)	5,427	4,830
その他の負債の増減額(は減少)	181	247
その他	11	25
小計	1,143	739
利息及び配当金の受取額	53	45
利息の支払額	199	207
法人税等の支払額	211	120
営業活動によるキャッシュ・フロー	785	1,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	45	39
有形固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	5	51
投資有価証券の売却による収入	100	-
出資金の払込による支出	-	92
貸付けによる支出	42	0
貸付金の回収による収入	17	34
その他	8	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	16	195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	23	615
長期借入れによる収入	-	364
長期借入金の返済による支出	61	555
少数株主への配当金の支払額	0	-
その他	20	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	106	399
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	1
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	657	819
現金及び現金同等物の期首残高	9,838	9,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,495	8,606

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 保証債務 連結会社以外の会社の借入金等に対し、保証しております。(円換算は決算日の為替相場によっております。) GSI Europe-Import+Export GmbH 163百万円 GSI (Shenzhen)Ltd. 76 GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 76 日神工業株式会社 63 GSI Shanghai Engineering 50 Plastic Processing Co.,Ltd. 24 寧波武田紡績有限公司 24 計 454百万円	1 保証債務 連結会社以外の会社の借入金等に対し、保証しております。(円換算は第2四半期決算日の為替相場によっております。) GSI Europe-Import+Export GmbH 222百万円 GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 72 GSI (Shenzhen) Ltd. 57 日神工業株式会社 52 GSI Shanghai Engineering 48 Plastic Processing Co.,Ltd. 23 寧波武田紡績有限公司 23 計 475百万円
2 手形割引高 受取手形割引高 148百万円	2 手形割引高 受取手形割引高 168百万円
3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 381百万円	3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 361百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 物流費 913百万円 販売諸掛 986 従業員給与及び賞与 1,043 賞与引当金繰入額 297 退職給付費用 71 その他 2,176 計 5,489百万円	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 物流費 923百万円 販売諸掛 1,020 従業員給与及び賞与 1,041 賞与引当金繰入額 309 退職給付費用 65 その他 2,200 計 5,559百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 10,495百万円 現金及び現金同等物 10,495百万円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 8,606百万円 現金及び現金同等物 8,606百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	繊維関連事業	非繊維関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,312	11,474	57,787	-	57,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	57	57	(57)	-
計	46,312	11,531	57,844	(57)	57,787
セグメント利益	941	409	1,350	(297)	1,052

(注) 1 セグメント利益の調整額 297百万円には、セグメント間取引消去57百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用240百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	繊維関連事業	非繊維関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,037	11,795	61,833	-	61,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	59	59	(59)	-
計	50,037	11,854	61,892	(59)	61,833
セグメント利益	965	386	1,351	(253)	1,098

(注) 1 セグメント利益の調整額 253百万円には、セグメント間取引消去59百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用193百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。また、ヘッジ会計を適用しておりますので、注記の対象から除いております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円45銭	10円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	608	682
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	608	682
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,368	64,358

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社G S Iクレオス
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 大東 幸司 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 渡部 逸雄 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S Iクレオスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S Iクレオス及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。